



「生きものと共に」

館長

泉森

由貴

子どもの頃、カレンダーをめくると6月... 梅雨明けは7月の半ばです。ひまわりが現れる7月の絵を見ても外は雨なのを不思議で悔しい気持ちで眺めてた気がします。とはいえ、長くじめじめした雨の日があるから晴れた日の清々しさが特別なことのように思えるものです。

先日、田植えの事業も小雨の中での実施でした。長靴やサンダルでは足を取られるので、子どもたちは古い靴下を履いて代かき後の土の感触を楽しんでいました。最近街では公園に砂場もなくなってきたと呟く親御さんもそんな笑顔に大喜びでした。子どもたちの心をさらに掴んだのは何よりここにいる豊富な生きものたち。アメンボにカエル、オタマジャクシを捕まえては自慢しあっていました。

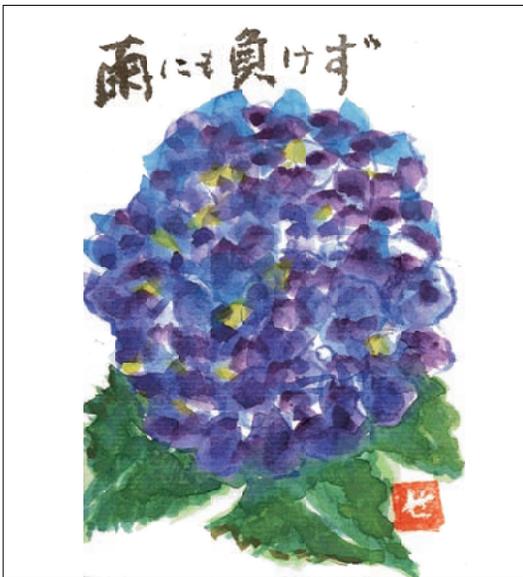
生きものといえば、田原地区の隣り、山田町では毎年この時期に「虫送り」という伝統の行事が行われています。日が暮れる頃、多くの人が鉦や太鼓の音と共に松明を持って地域の田を練り歩き、最後は祈禱札を川に立てるといいます。その妖艶な光景

平成29年 6月号



法人 田原公民館 発行 泉森 由貴

を一目見ようと観光客を呼んでいるそうです。興味深いのは害虫を駆除するためではなく、日頃殺生している虫たちを供養するために実施しているとのこと。作物に危害を加える虫たちも生きものであると尊ぶ精神。昭和の初めまでは田原も含め、全国で行われていたそうです。



人の心を掴んで離さない虫と言えはやっぱり蛍です。何度見てもあの光は不思議なものです。田原地区内にもいくつもの蛍スポットが点在しますが、蛍が飛ぶ条件というのがあるようです。湿度が高く蒸し暑くて風のない日、曇り空の月明かりがない午後8時以降、ライトなどの強い光を当てないように待つのがいいそうです。カエルの声も雨音も蛍の光も暑い夏への準備期間です。今夜はテレビも灯りも消して自然の中にそっと身を置いてみませんか。

主催講座 老春塾 開講にあたり

地域のイベント 人との繋がり

老春塾 塾長 水野 治夫

5月12日、各種団体役員様の列席をいただいた平成29年度総会のあと、田原老春塾の開講式が多数の受講生の出席のもと盛大に開催されました。中尾義永様の「奈良とオマーンの深い関係」と題した講演を拝聴し、



水野塾長

感じたのは田原の地はその昔より春日野宮陵、光仁天皇陵、太安萬侶墓を有し、何がしの政治に関わってきた地であると思われれます。奈良時代には平城京を中心に大勢の人が集まり数々の行事が催されたと思像されます。現代風に言えばまさに地域のイベント、人との繋がりにあると思います。澄んだ空気や水に恵まれ田植えが終わった水田に白鷺の姿が水面に映り、朝夕の散歩に思わず足を止め、改めて自然豊かな地で生活出来る事に喜びを感じています。

この美しさを次の世代を背負う子供や孫達が自然豊かで人情のある田原で育って良かったと思ってもらえる様に私達が少しでもお役に立てればと思います。人生許される限り老人パワーで頑張りましょう。



主催講座 「TAWARAキッズ」開講

平成29年度のTAWARAキッズが5月20日に開講しました。一年生が6人入ってくれて、メンバーも新しくなりました。学校でも顔を合わせるみんなですが、まずは仲良くなってもらおうと、ほがしわ弁当を一緒に作ってから、田原地区内散策にお出かけです。まずは、矢田原のR工房。陶芸家の箱崎さんに轆轤を回してもらいました。箱崎さんの手つきに目を丸くする子たち。工房を後にして向かった先は田原春日野町美加土神社。以前この館報でも取り上げましたが春日野町のお宮さんは高台にあります。そこまでは運搬用のモノレールが延びています。恐るおそる乗り込む子どもたち。4回ほどの往復で頂上の境内に到着することができました。自分で作った弁当をあけると、朴の葉の香りが広がり、いろいろな具を載せたご飯が空腹を満たしてくれました。モノレールのお世話をしてくださった松田さん、ありがとうございます。次回のキッズは月ヶ瀬での五館交流キャンプです。



春日野のモノレール



ほがしわ弁当をつくりました



お宮さんで昼食です



元気いっぱいです



第2回目は田原やま里市場の榎崎代表にやま里弁当について伺います。

取材：泉森 由貴 写真：吹ノ戸由実子

風薫る5月17日、田原やま里はっとステーション横のウッドテラスにて榎崎隆文代表に田原やま里弁当について伺いました。▼4月1日にオープンされたばかりと聞きました。立ち上げまでの経緯を教えてください。●奈良市の産直市場活性化施策の一環です。すでにある田原やま里市場を活性化させるためにどんなことができるか市場に関わる皆でアイデアを出し合いました。レジンステムの更新や、こんにゃくや漬けもの加工場を作ろうという案もありましたが、一つの品目にこだわらず、何でも作れる調理場にしようというところでスタートしました。建物の中に飲食スペースを併設しようとも考えましたが、誰でもどこでも食べられる弁当にすれば場所を選ばないと思います、今の形が出来上がりました。▼建物に映える素敵な看板ですね。ネーミングもいいですね。●店名には田原の冠詞となっている「やま里」を使うことにしました。博物館や市場などで浸透していますから。看板とロゴマークは奈良国際映画祭の大原さんにデザインして



の店主にも調理器具などのアドバイスをいただきました。今では総勢11人。1日3〜4人が交代で当番しています。採算ベースに乗るまでは、有償のボランティアでがんばっています。▼料理、食材へのこだわりは？●まずは低農薬の田原産の米。そして季節の旬の野菜です。米と野菜を味わっていただくことで市場との相乗効果を狙っています。毎日食べると飽きない薄味を心掛けています。▼メニューはどんなものがありますか。●親子丼と日替わり弁当です。日替わり弁当は料理長の市井さんがメイン食材を、副菜はその時々野菜を考慮しながらみんなで相談しています。田原やま里市場のホームページに一週間分のメニューを公開していますよ。▼これからの展望はありますか。●弁当事業は3つのコンセプトがあります。田原を訪れる人への食を通してのおもてなしをすること。第二に田原の農産物の価値を高めるといこと。最後に田原の準公共的な施設を利用してあるので地域への貢献をするということ。例えば福祉的な側面から一人暮らしの高齢者の方に安心して食べてもらえるものをお届けしたいということです。田原地区内ならどこでも一つでも配達しますよ。▼最後に榎崎さんが好きな田原はどこですか。●太安萬侶の墓と国見山からの景色ですね。▼これからの良い季節、ハイカーの方にもお弁当は喜ばれるでしょうね。●そうですね。まだ地区内でもご存じない方が多いので多くの方に利用していただきたいです。



盲導犬への募金

「ご協力ありがとうございました」

公民館窓口に設置してある盲導犬育成への募金額2,583円を関西盲導犬協会にお届けしました。目の不自由な方に貸与される盲導犬は人とともに暮らすことを喜び、歩くことを楽しむかけがえのない存在です。盲導犬の育成を通して目の不自由な方が自分らしく暮らしていける社会の実現を目指していますとのメッセージが協会から届きました。皆さまのご協力、ありがとうございました。



館報の挿絵が変わります

今月号より当館報の挿絵が変わりました。田原公民館では20を超える自主グループが活動されていますが、絵を描くグループは「こころ」だけです。ここには12人。6人ずつが火曜日と木曜日、月に2回ずつ季節に合った題材や描きたいものを持ち寄って作品を仕上げます。



6月の公民館行事とその他のお知らせ

- 3日(土) 五つ星★交流キャンプin月ヶ瀬
4日(日) 田原地区環境美化運動 8時から
7日(水) プチ田舎暮らし・田原一ほがしわ弁当と茶がゆー
14日(水) 第1回 チャレンジ和太鼓
15日(木) スパイスで作るこだわりカレー
ムジークフェストなら2017寧楽音素描ノ十輪寺
24日(土) 第2回 田原ファン倶楽部
28日(水) 第2回 チャレンジ和太鼓
30日(金) 第2回 老春塾
キャンプは13時45分からです



都祁保健センターよりがん検診のお知らせ

胃がん・肺がんセット検診を実施します

- \*8月・11月の特定検診・がん検診よりも混雑していません\*
●日時：平成29年7月19日(水) 受付午前8時半から10時半
●申込み：6月1日(木)～6月20日(火)
●場所：都祁保健センター
●お問い合わせ：申込みは都祁保健センター 電話：0743-82-0341



詳細はならしみんだより6月号をご覧ください。